

5回生 キャリア課題探究（C探究）校内ワークショップ

AKB Future Project 推進委員会

- 日程 2021年7月19日（月）4校時
- 総合的な探究の時間
- 対象 5回生70名

5回生（高2）キャリア課題探究（C探究）の一環として「校内ワークショップ」を実施しました。

有志6探究が他の5回生約70名の参加者を相手に50分のワークショップを提供します。企画・運営する側も参加する側もワークショップ初体験の生徒がほとんどだったため、細かい所ではたどたどしい部分もありましたが、それ以上に大きな収穫を得たようです。

1 イベントで地域と観光客を繋ぐ

登別駅前に令和4年度オープン予定の登別市情報発信拠点施設（仮称）にどのような機能があると利用が増えるか、参加者のグループワークによりアイデアを出しました。今後は、登別市への提言を目指し、集約した意見をまとめていきます。



2 好きなことに胸を張るためには

韓国のドラマを視聴し、文化の違いを考えました。初見での印象を言語化することで整理し、それを踏まえて続きを視聴するという形式で、参加者たちの思考を促していました。



3 応援されるチームになる

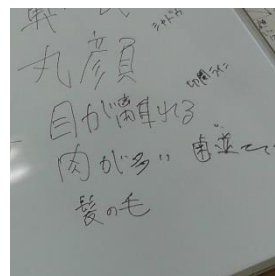
最初に1分間相手を褒め続けるペアワークにより応援の効果を確認し、続けて応援しているものや応援する理由を考えていきました。



それぞれの参加者が、応援されるチームに必要な要素を考え、最後は「応援されるために明日からできること」をワークシートにまとめました。

4 Men's Make up

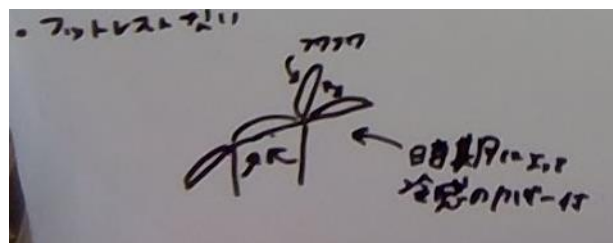
男性がメイクする意義を広め、男性も女性と同じようにメイクできる社会を目指す探究で、今回のワークショップでは理想の顔を考えました。理想に近づくために、自分にとってマイナスの要素を挙げ、メイクによりそれらを解決していく可能性を考えます。



5 教室の机と椅子をデザインする

グループごとに今の机と椅子の課題を洗い出し、理想の机と椅子をイメージします。その後、携帯サイズのホワイトボードを使い、理想の机と椅子をデザインしました。

現状の課題を出してからのデザインだったので、どのグループも狙いを持って考えることができたようです。



6 快適な靴を作る

靴の構造や機能について、思っていることを出し合い「快適な靴」の条件を考えました。デザインや素材は、今回は一切考えないというルールで、参加者の思考を構造や機能に誘導します。参加者の多くは運動部に所属しているので、競技ごとに重視するものが異なることが分かりました。参加者同士でも新しい発見があったようです。



（記録：太田）